

# 平成28年度 第3回

## 四国地方整備局新技術活用評価委員会の開催 ～有用な技術を育成し、社会に還元されるために～

四国地方整備局は、有用な民間等の新技術の公共工事等への活用促進を図る事を目的として、新技術に係る情報の収集、技術公募、事前審査及び事後評価等を実施するための『四国地方整備局新技術活用評価委員会』を以下の要領で開催いたします。

記

### 「平成28年度 第3回 四国地方整備局新技術活用評価委員会」

日時：平成29年2月27日(月)15:00～17:00

場所：アイホール(高松サンポート合同庁舎低層棟)

#### 【審議事項 概要】

##### 1. 新技術の事前審査(1件)

試行申請型で試行申請があった新技術について事前審査します。  
今後の試行にむけて、技術の成立性の確認を行います。

##### 2. 新技術の事後評価(9件)

工事の中で使った結果を基に、技術を評価します。  
今後の工事で採用する時等に、この結果を参考にしていきます。

#### <取材でのお願い>

新技術の審議内容については、各技術の秘密・特許情報等にかかる事柄があることから、取材は委員会の頭撮りのみとさせていただきます。なお、委員会終了後事務局にて取材に応じます。

平成29年2月20日

#### <問い合わせ先>



国土交通省 四国地方整備局

企画部 施工企画課長

○ 施工企画課長補佐

いちばら  
市原  
きのした  
木下

みちひろ  
道弘  
いさお  
功

(087-851-8061 内線 3451)

(087-851-8061 内線 3453)

※○：主たる問い合わせ先

## ～審議技術の概要～

## ＜事前審査＞

## 『スーパーハイグレード(SHIG)工法(SK-110008-A)』

本技術は、コンクリート構造物補修時の高耐久性能のある充填用ポリマーセメントモルタルで、本技術の活用により既存コンクリート構造物の断面修復材として一般的な補強材と比べ剥落発生などの心配も少なく摩耗性に優れており機能回復する事により延命効果があります。

## ＜事後評価＞

## 『次世代足場 Iqシステム(HK-140003-A)』

本技術は、支柱に軽量で強度に優れた高張力鋼管を使用することで従来より製品重量が軽減し、施工性に優れる上、支柱・手すりは抜け止め機能付きで、手すりは支柱のフランジに横から差し込むのみで取り付け出来る為、工程が減り、工期を短縮できる技術です。

## 『ワンキャップ(CG-130021-A)』

本技術は、予め防食充てん材が充てんされたアンカーキャップの製品化により、施工現場での設置工程が簡素化され、作業時間および設置労力を大幅に軽減できる技術です。

## 『タラップ連結式昇降通路(KK-110002-A)』

本技術はケーソン製作工事のうち、内壁の鉄筋工事において、鉄筋を乗り越えて他のマスへ移動を行うための昇降通路です。従来は鉄筋に梯子を掛けて乗り越えていましたが、本技術は複数のタラップ頂部を通路でつないだもので、マス間を簡単に移動することが可能です。

## 『ハイブリッド型運航監視システム「COS-NET」(CBK-120001-A)』

本技術は港湾工事において、位置情報発信端末、AIS、船舶レーダー等を利用し、工事用船舶や一般船舶の動静情報を監視するシステムです。スマートフォン型発信端末やPC型発信端末の自動警報(画面・音)発信機能により、海上衝突事故を防止することができます。

## 『航行船舶監視システム みはりちゃん(CBK-120002-A)』

本技術は、工事海域における船舶運行状況をAIS(船舶自動識別装置)情報及び携帯電話位置情報、レーダー画像データをインターネットサーバーを用いて、各作業船及び事務所で参照可能とすることで、工事船舶の航行安全に寄与する技術です。

## ＜事後評価(再評価)＞

## 『高強度ロックピン付排水柵はね上がり防止グレーチング蓋(KT-070069-V)』

本技術は、雨水排水柵グレーチング蓋のロックピンの素材をSUS304CUNに変える提案で、従来はSSが使用されてきました。本技術の活用により、ピンの強度や耐食性・耐久性が増し、施工時における作業性の向上が期待できます。

## 『セフトパラペッター(CB-100024-V)』

本技術は、枠組足場使用時の安全を確保する為の手すり先行工法で、従来は一般的な先行手すりした後付け幅木で対応していました。本技術の活用により一体型L型幅木や安全帯通過器具が装備され、足場の組立・解体および作業時の人の墜落、物の飛来落下を防止する事が期待出来ます。

## 『パネル式システム吊り足場「セーフティSKパネル」(KT-100070-V)』

本技術は、橋梁桁下の足場工・防護工をパネル式ユニットで構築する技術です。従来はパイプ吊り足場で対応していましたが、本技術の活用により多数の足場部材を現場で組立てる必要がなくなり、墜落の危険なく効率的に設置・撤去作業ができるため安全性・経済性が向上します。

## 『パネル式防護柵(KT-080015-V)』

本技術はパネル式防護柵です。従来は道路改良の法面工事現場における防護柵に鋼矢板で対応していましたが、本技術の活用により設置・撤去の作業性を向上させることが出来ます。

技術の詳細は、登録が完了しているものについては、以下のURLにて確認できます。

<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp>

# 平成28年度 第3回四国地方整備局新技術活用評価委員会 議事次第

日時：平成29年2月27日（月）15:00～17:00

場所：アイホール（高松サンポート合同庁舎低層棟）

## I. 開 会

## II. 挨拶(企画部長)

## III. 議 事

### 1. 平成28年度 第2回四国地方整備局 新技術活用評価委員会の報告等

#### 1-1 平成28年度 第2回四国地方整備局 新技術活用評価委員会の報告等

### 2. 新技術の事前審査（試行申請）

#### 2-1 スーパーハイグレード（SHIG）工法

### 3. 新技術の事後評価

#### 3-1 四国地方整備局で事後評価を行う技術について

#### 3-2 次世代足場Iqシステム

#### 3-3 ワンキャップ

#### 3-4 タラップ連結式昇降通路

#### 3-5 ハイブリッド型運航監視システム「COS-NET」

#### 3-6 航行船舶監視システム みはりちゃん

### 4. 新技術の事後評価（再評価）

#### 4-1 今回事後評価（再評価）を行う技術について

#### 4-2 高強度ロックピン付排水柵はね上がり防止グレーチング蓋

#### 4-3 セフトパラペッター

#### 4-4 パネル式システム吊り足場「セーフティSKパネル」

#### 4-5 パネル式防護柵

### 5. 「四国テーマ設定型(技術公募)」の募集テーマについて

#### 5-1 「四国テーマ設定型(技術公募)」の募集テーマについて

### 6. その他

## IV. 閉会

# 「四国地方整備局新技術活用評価委員会」 設置趣旨書

## 1. 設置趣旨

公共工事に関連した民間等による技術の開発は、公共工事の品質の確保や安全で安心な暮らしの実現、良好な環境づくり、快適で生活コストの安い暮らしの実現等に向けて、民間等の分野における技術開発が促進され、優れた技術が産み出され、さらには、改良が加えられ、社会に還元されていく仕組みを確立することが重要です。

四国地方整備局では、これまでにNETIS（New Technology Information System, 新技術情報提供システム）を用いて新技術の活用を推進してきたところでありますが、民間の技術開発の促進およびすぐれた新技術の活用による公共工事の品質の確保、コスト縮減等を強化・促進するために、学・産・官の有識者により構成される「四国地方整備局新技術活用評価委員会」を平成17年6月29日に設置しました。

当委員会においては、公共工事等への有効な新技術の活用促進を図る事を目的として、新技術に係る情報の収集、技術公募、事前審査、現場での試行及び事後評価を実施します。

委員会の運営を通じ、四国地方における地場産業、地域特性を生かした地域貢献ならびに防災・減災が図れることが期待できるとともに、全国の公共工事等において新技術の活用促進を図る事により、民間における技術開発が促進され、良い技術が育成し、社会に還元されるスパイラルが確立され、公共工事のさらなる品質の確保、コスト縮減等が期待できます。

## 2. 新技術活用評価委員会 委員名簿 (敬称略：順不同)

(大学 5名)

松島 学	香川大学工学部 教授 (構造工学、コンクリート工学、信頼性工学、景観工学)
吉田 秀典	香川大学工学部 教授 (構造工学・地震工学・維持管理工学、地盤工学、土木材料・施工・建設マネジメント)
高木 方隆	高知工科大学システム工学群 教授 (国土情報処理工学)
日向 博文	愛媛大学大学院理工学研究科 教授 (沿岸海洋工学、海岸工学)
渡邊 健	徳島大学大学院理工学研究部 准教授 (コンクリート工学)

(産業界 3名)

- (一社) 日本建設業連合会四国支部 技術委員会 委員長
- (一社) 建設コンサルタンツ協会四国支部 企画部会 部会長
- (一社) 日本埋立浚渫協会四国支部 技術委員会 委員長

(研究機関 2名)

国土研究開発法人	土木研究所 材料資源研究グループ長
国土研究開発法人	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹

(整備局 8名)

四国地方整備局	企画部長 外7名
---------	----------